

【22_334技術系メルマガ】検証作業のルーティン化

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

日々、生活においてもトレード・仕事においても、『ルーティン』を設ける事の重要性については過去何度かメルマガにしたことがあります(【157, 163, 217, 227, 239】あたり参照 笑)が

『検証作業』にフォーカスしたルーティンについては触れた事はまだなかったので、質問を頂いたこの機にまとめておこうと思います。

▼質問内容はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-12-01.png

□
■ 『作業効率化』に意識を向けたルーティン

検証のルーティン化は、それこそ取り得るトレードスタイルによって

ルーティン化する(できる)ポイントは大きく変わってきますが

共通してポイントになることとしては『いつも必ずやること』にフォーカスするのがポイントです。

例えば僕の現行のトレードスタイルであれば、検証する際には

まず『M5-M15足のMA収縮』を探すのが第一のルーティンです。

これが無いと、そもそも僕の中でトレードするべきポイントを探り当てることができないからです。

この先の分析手順は、別配信で登録いただいているであろう、全8通のメルマガデイトレ講座のステップメールでお伝えしていますが

(さらに詳しい内容はサロン内や、現講座のなかで手順化したものを共有しているので、ここでの説明は省略します)

- ・収縮したMAに対して『抜けの1波』がどのように形成されるか？(【146】通目参照)
- ・上位の時間足の環境を見て、H1/20MAとの位置関係(【236】通目参照)
- ・H4足以上を見て、邪魔なMAや水平線が無いかな？

この順序でチャートを見て行くことで、その場所、方向でのエントリーが適切か？それとも見送りとするか？

を仕分けし、検証母数をひたすら集めつつ、さらにそこから問題点を炙り出していく。

この作業を繰り返し、母数を背景とした『感覚を慣らす』とともに、問題点を明確にして検証によって潰す。

このルーティンを日々繰り返し行う事で、一貫したトレードを行う『感覚』を磨くことにも繋がります。

検証と同じ分析手順を実際のトレードで行う際にも、不安を感じることなく『再現』できるようにする為にも

可能な限りルーティンを組み、優位性がある(トータルで勝てる)ということを確認できるようにする仕組みづくりをすることが大事になります。

では、今日はいつもより短めですがこのへんで。